

Think Globally, Act Locally

～持続可能な世界の実現を、真庭から始める～

取組等の概要



【落合校地】地元メディアと協働して真庭市の企業を訪問。SDGsについてインタビュー。



【久世校地】「地域とつながるミニパブリカ」の育苗と提供で持続可能なまちづくり。

■SDGs × 真庭市 × 真庭高校

真庭高校は教育のミッションとしてThink Globally, Act Locallyを掲げており、地球的な視野で考え、地域で行動できる人材の育成を目指しています。そして、真庭市は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた優れた取組を行う都市として、全国29都市の「SDGs未来都市」に選定されています。

真庭高校では、このSDGsを教育活動に取り入れ、授業等で地域と関わる教育活動を積極的に進めています。世界という共同体の一員として、自分が身を置く場所から、共同体の持続的継続的幸せのために何ができるかを考え、行動する学習を展開しています。

■落合校地 × Try&Report(TR)

TRとは、落合校地の総合的な探究活動の総称で、「Try=やってみる」ことを「Report=伝える」活動です。

生徒たちは地域貢献をキーワードに地域に繰り出し、様々な体験を通して自分たちに何ができるかを考え、実践し、その取組を発表として形にします。

昨今の変化の激しい社会で求められる「答えの無い問いに向き合い、思考する」力を身に付ける探究型の教育活動です。



シンキングツールで皆の意見を深める

地域に繰り出し、地域課題を協議



■久世校地 × 地域貢献

久世校地では、農の力を利用して地域の人と交流し、地域連携や研究開発・地域資源の利用などについて共に試行錯誤することで、地域に貢献する実践的な活動に取り組んでいます。

ジビエ活用プロジェクトでは、真庭の課題である有害獣の有効活用に取り組んでおり、猪肉・鹿肉を使った発酵調味料やジビエ料理の研究開発を行っています。



ジビエカーネルでの解体実習

ジビエ料理講習会

